

格者は子ども26人に対して1人が義務付けられている。

(4) Reception classes (公立小学校の初級学級)

4歳または5歳児を受け入れる。初めは半日制で慣れてきたら1日制に移行する。1学級の人数は30人と法的に制限されている。

(5) Playgroups (プレイグループ)

3歳から5歳児を受け入れ、半日制である。地域の有志や両親が公民館を使って運営していることが多い。子ども8人に大人が1人つくことと、大人の半数は有資格者であることが必要である。

(6) Day nursery (公立・私立保育所)

5歳児以下の幼児を1日受け入れる。地方自治体、教会や慈善団体などによって運営され、両親の都合に合わせて保育する。子ども8人に大人が1人つき、その半数が有資格者であることが必要である。

(7) Family center (ファミリーセンター)

地域の子ども家庭支援センターなどで保育されている場合。

(8) Child mynder (チャイルドマインダー)

Child mynder によって個別的に保育されている場合。

乳幼児の保育・教育施設は、公立・私立を合計するとイギリス全体で約10万ほどあり各年齢段階ごとに定められた次のようなガイドラインに適合した保育・教育を実施しているかが評価される。

・0歳から3歳は、Birth to three matters
・3歳から5歳は、nursery follow 3-5 curriculum guidance

・8歳以下は、standard for all under age 8
なお、これらのガイドラインのうち3歳以下は義務でなく推奨として実施されている。

また2008年9月からは、3歳から5歳は新たに「幼年期基礎ステージ・カリキュラム」によって統一される予定である。

そこでは次のような6つの基準項目が設定されている。

健康づくり

- ・健康
- ・食育

安全

- ・物的環境
- ・教材教具
- ・安全性
- ・子どもの保護

達成や楽しさ

- ・ケア
- ・学び
- ・遊び

子どもたちの積極的な参加

- ・機会均等
- ・特別支援
- ・ふるまい方
- ・保護者との関係

組織

- ・適材適所
- ・記録
- ・組織編制

経済的により良くなるために

これらのうち、「組織編制」と「経済的により良くなるために」は判断材料としては用いられない。監査報告書では、これらの項目にのうち上から4つまでについて、4段階評価がなされることになる。

◆ Ofsted による保育・幼児教育施設に対する監査の実際

2000年保護標準法により、Ofsted は子どもを自宅で預かる形式も含めた保育の規制に関する責任を与えられた。イギリスでは10万を超える保育・幼児教育機関がある。それに対して現在 Ofsted には、約250名の勅任監査官と約900名の保育監査官がいる。監査

チームは指導する勅任監査官1名と保育監査官数名で実施されている。

2001年9月以降、Ofstedは保育・幼児教育に関し、次のような機能を果たしてきた。

‡@ 保育提供者の規制

‡A 保育が標準的な基準を満たしているか、及びその質を査定するための定期的な監査

‡B 提供者が適切であるかを査定するために、提供者に対する苦情の有無の調査

‡C 必要に応じた強制施行

2005年以降から、監査方法は以下のように改定された。

‡@ 施設に問題がある場合を除いて、評価は約3年に一度行われる。

‡A 監査は1日から2日で行う。また少ない監査員で実施できるようにする。

‡B 学校や施設への予告をほとんどすることなく実施する。

こうした改訂により、保育施設の自己評価が監査の中で重要な役割を果たすようになり、施設は自己評価を毎年更新するようになった。また監査員は現在より短縮された定型的な枠組みに従って実施することになった。実際にはパソコンを携帯し、必要な評価内容の調査結果を現場で入力する方法を導入している。

地域ごとに2人から6人くらいの監査者がチームになって評価を実施する。評価に当たっては、あらかじめ提出されている実施計画書や自己評価の結果、さらには保護者アンケートの結果等を参考にして、調査項目を絞り込んでおき、短時間での調査による評価が可能になるようにパソコンの導入が図られている。評価内容はケアの部分と教育の部分の二側面について査察されている。評価方法は、子どもを観察したり子どもと直接話すること、子どもとスタッフのかかわりを観察すること、チャイルドマインダーやマネージャー、スタッフなどと話すこと、保護者と話す

こと、保育計画や保育記録や苦情などの記録を調べること等、実際の証拠を集めることが重視されている。

◆ Ofstedの評価基準と通達方法

各保育・幼児教育施設は、監査官によって実際に集められた証拠から、次の4段階で評価される。

Outstanding

- ・環境が優れている
- ・子どもたちの成長が素晴らしい
- ・模範的な実践である
- ・改善点は無い

Good

- ・保育者が充実している
- ・子どもたちの成長がよくわかる
- ・発達を促す価値ある実践がなされている
- ・改善点はほとんどない

Satisfactory

- ・環境は適切である
- ・子どもたちの成長がみえる
- ・よりよい実践への見通しがある
- ・改善点がわずかである

Inadequate: Category 1

- ・保育者が不十分である
- ・子どもたちの成長が十分ではない
- ・心配な原因がある
- ・改善への行動がなされていない

Inadequate: Category 2

- ・保育者が不適切である
- ・子どもたちの成長が不十分である
- ・緊急な配慮が必要
- ・強制的な行動が必要
- ・保育のために恒久的な支援が必要

保育提供者に対する評価が終わった後、報告書と要約が発表される。これらはその施設・学校、地方教育委員会(LEA)、Ofsted、そして一部の機関にも送られる。施設・学校においては学校内の各児童の親に要約のコピーを送らなくてはならない。報告書は監査終了後6週間以内に発表される。また報告書は

その施設・学校が改善のため何をしたら言いかを勧告する。施設・学校の責任者（通常は理事）は報告書を受け取ってから40日以内に監査の結果を受けて何をやる意図があるかのプランを書かなければならない。

保育・幼児教育施設に対するこれらの評価の割合は、2003年のデータではOutstandingが4%、Goodが17%、Satisfactoryが54%であった。その施設に対してOutstandingという評価を出す場合は、主席勅任監査官の合意を必要とする。またInadequate: Category 2と判断され、再検査によっても改善が見られず閉鎖された施設は2005年度は200にもなかった。

②公表された評価結果の検討

施設 I (Kindergarten)

教育の質と水準に関する総合評価
outstanding

◆保育環境 (provision) の領域別評価およびその根拠

○子どもの健康への援助：outstanding

- 健康、衛生、食べ物、飲み物に関し、細部に注意が行き届いており、子どもの健康と福祉が保障されている。子どもたちの医療や食事についてのニーズがよく把握され、すべての職員に効果的に伝達されている。
- 子どもたちが持参したお弁当は冷蔵状態で保存される。家庭から届けられた食べ物をキッチンで準備し、温かい食事を提供することができる。乳児には食事が準備され、管理においては十分な注意がなされている。子どもたちの食事に関する記録は日常的に保護者と共有されている。新鮮な果物や野菜など、健康的で多様なおやつが提供される。また、一日を通して必要なときに飲み物が提供される。
- 遊びの後や食事前の手洗いが日課に含まれている。子どもたちに手洗いの重要性を理解させるよう援助がなされている。子ども

たちはティッシュを使用し、ごみばこに捨てる。

- 保育は清潔で衛生的な環境でなされている。トイレの世話やオムツ替えは適切な手順でなされている。
- 投薬が必要な場合は、薬について保護者か carer が記録し、署名をする。応急手当は園内でトレーニングを受けた職員が行う。救急箱が園内の数箇所に設置してある。体調を崩した子どもは、保護者か carer が迎えに来るまで安静な状態に保たれる。感染症にかかった子どもを感染の危険がなくなるまで通園停止にすることにより、感染の拡大が予防されている。
- 天気が許すときには外で身体的遊びを行う。地面がぬれているときは、予備の長靴とコートを使用することができる。子どもたちは、大型遊具、車輪つきのおもちゃ、小さな道具を使用することができる。外に出ることができないときには、室内で音楽と動きのある活動を行う。
- 自由遊びの時間には遊具や活動を選ぶことができ、主体性の発達が促される。おもちゃは、子どもたちが自分で取ったり戻したりできるような入れ物に保管されている。

○危険やネグレクトからの保護と安全への援助：outstanding

- 子どもたちは非常に安全な環境で保育されている。
- 子どもたちは誰も見ていない状態で敷地を出ることはできない。また、訪問者はすべて園内に入る前に審査される。
- 階段のゲート、手すり、広い廊下、電気、安全な出入り口等が設備されている。また、高くて頑丈な木のフェンスにより、園庭の安全が保たれている。教室は広々としており、自然の光が差し込む。子どもたちの安全、快適さ、発達を促すために選ばれた高品質の家具と遊具が備え付けられている。

- すべての部屋にはトイレが設置されている。トイレは清潔で、便器、洗面所、オムツ替えの設備が整っている。また子どもが使いやすく魅力的なつくりになっている。
- 子どもたちは定期的に避難訓練に参加しており、職員は非難の手順に精通している。事務所の職員へ直接つながる通信回線があり、いかなる時でも援助がすばやく召集される。
- 職員は子どもを守るための方法を理解している。職員はよく訓練され、自信を持ってあらゆる懸念事項に対処することができる状態にある。

○子どもたちが達成することや楽しむことへの援助：outstanding

- 保育にあたっては、子どもたちの年齢や発達段階にふさわしい、計画された活動と自由な活動がバランスよく含まれたプログラムが組まれている。3歳以上の子どもたちのためのカリキュラムは Foundation Stage に基づいており、3歳未満児については、'Birth to three matters' の枠組みを念頭に計画されている。
- 子どもたちがめりはりのある楽しい一日を過ごせるよう、日課に活動的な時間と静かな時間、自由遊びと設定された遊び、外遊びといった異なる要素が含まれている。
- 眠ったり昼寝をしたい子どもたちは、好みに応じてマットか簡易ベッドで寝ることができる等、個人のニーズが尊重されている。
- 乳児の部屋は、広々としており、はいはいしたり寝返りしたりできる。家庭的な家具が設置され、つかまり立ちやヨチヨチ歩きを始めた乳児の動きを促す。
- 子どもたちは、文化の多様性を表現している道具や画像を使用することができ、プログラムの一部としてお祭りや文化的なイベントに参加する。他の文化の子どもになることがどんな感じがするのかを理解するた

- めに、ドレスアップしたり、ごっこあそびエリアを使用したりすることができる。
- 玄関前には、たくさんのかぼちゃや秋をテーマとした展示物など、想像力に富んだ展示物が置かれている。それらは、感触や視覚を刺激し、疑問や叙事的な言語の発達を促す。
- 乳児を含むすべての子どもたちが、泥遊びや創造的な遊びを行う機会をもつ。最終的に何かを製作することを目的とせず、様々な手ざわりや匂い、色、音を経験することを楽しむような感覚的活動を楽しむことができる。
- 職員は発達段階をよく理解しており、保育を個々の子どもに合わせて調整することができる。子どもたちはそうした職員とあたたかくフレンドリーな相互作用を楽しんでいる。
- 乳児は授乳時にしっかりと抱かれ、安心や安全を感じることができる。

○幼児教育：outstanding

- 職員は Foundation Stage のすべての側面について適切な知識と理解をもっている。そのため、子どもたちが幼児期の学習目標に向けて進歩するのを支援する、幅広くバランスの取れた活動と遊びのプログラムを計画することができる。
- 活動は、子どもたちの異なるニーズや発達段階に応じ個別に調整される。子どもたちにとって十分に挑戦を含み、子どもたちが考えたり問題を解決したりするのを促すものである。
- セッションは、よくペース配分がなされ、すべての子どもたちにとって魅力のあるさまざまな教授スタイルを含む。静かな思考とリラクゼーションの時間があり、バランスの取れた一日になっている。
- 付加的な支援が必要な子どもたちのために、特別な活動が準備されている。それは、彼

ら自身のペースで全体的な進展を遂げることを可能にするために開発されたものである。

- ・時間と資源は非常によく活用されている。職員は自分自身のタイムテーブルを作成しており、雷を見たり、雪を経験したりといった学習の機会が生じたときには柔軟に対応することができる。
- ・非常によく開発された評価システムによって、子どもたちの達成状況、次の段階へ進むために必要な事柄が明確に示される。
- ・子どもたちは粘り強さを持ち、課題を的確にやり遂げることができる。さらに達成感や自尊心を示す。彼らは、遊んだり作業したりしながら、彼らのつくった模型や絵画について話したり、家庭や家族の出来事について好んでよく話したりする。
- ・食事とおやつ時間は、リラックスした家庭的なスタイルである。テーブルがきれいにセットされており、子どもたちは場をわかまえることを感じとることができる。子どもたちは、きちんと自信をもって行動し、友達や職員との会話や食べ物を楽しむ。
- ・子どもたちは話すことや聞くことといった重要なリテラシースキルの発達を促すようにデザインされた活動に参加することで、有能な話し手や聞き手になる。学齢に近づくか、レディネスを示したときには、文字の音や読みのスキルの前段階を導入するような、より構造化された授業に参加する。子どもたちは、ごっこ遊びやトピックワーク (topic work) においてさまざまな目的のために書く。また、本やお話を日課の一部として楽しんでいる。
- ・数学的なスキルや概念は、自由遊びにおいて並べ替えたり順序付けしたりするような数学的な道具を用いることで発達する。パズルや組み立てキットによって、形や空間の概念が面白く意味ある方法で導入される。問題解決や初歩の計算スキルを導入す

るのに、コップや果物やビスケットを配るお手伝いなどの日課が利用される。砂、水やその他の物質を用いて、重さや測定のご概念を探求する機会が提供される。

- ・家庭用の道具や、CD プレイヤー、デジタルカメラ、電気のおもちゃなどのテクノロジーを用いたごっこ遊びといった、トピックや毎日の活動を通して、現実世界に関する知識や理解の発達が促される。さまざまなプログラムをやり遂げるスキルが発達するのに伴い、子どもたちは基本的な情報テクノロジースキルに堪能になり、マウスやキーボードを使用することができるようになる。
- ・動物病院の看護師のような園への訪問者があるときは、彼らのスキルや動物と共にどのように働いているかを子どもたちに見せる。
- ・子どもたちは庭で見つけた虫や自然物を調べるために虫メガネを使うことができる。
- ・子どもたちは保護者と夏に動物園への遠足を楽しみ、その行事を思い出すために写真を見ることができる。
- ・園庭に備え付けられた大きな遊具は外遊びで自由に使用することができ、身体的発達が促される。キャッチしたり投げたりするスキルを促す小さな遊具や、乗ったり操縦したりすることができる車輪つきのおもちゃもある。
- ・子どもたちは、さまざまな道具を用いることで微細な筋肉を発達させる。また、食器や調理用具も使用することができる
- ・美術と工作の活動のプログラムにおいて、色を混ぜることや異なるメディアが導入され、創造性の発達が促される。事前に決定された目標なしに、描いたり、印刷したり、コラージュをしたりすることができ、創造を通して自分自身を表現することができる。
- ・音楽は日課の一部であり、歌や楽器の演奏

が行われる。特に天気が悪く外で遊ぶことができないときは、活動的な音楽と動きのセッションが行われる。

○子どもたちの積極的な参加への援助：
outstanding

- ・子どもの個別のニーズがよく把握されており、子どもが最も興味を持っていることを念頭に置いて保育がなされている。たとえば、好きな学習のスタイル、遊び、食事と睡眠のパターン、お気に入りのお話や活動など。子どもの個別のニーズは、すべての時間において考慮される。個別化された保育は、保護者との定期的な話し合いや、子どもを観察することによって達成されている。
- ・すべての子どもたちへの統合保育がなされており、さらなる援助が必要な子どもたちに対して、彼らが園の日課のすべての側面に触れ、最大限の進歩を遂げることができるよう、きめ細かい援助がなされている。必要などときには外部の専門家からの援助や指導が行われる。保護者は情報を受け取り、職員と親密に協働することが保証されている。
- ・各教室は異なる鳥にちなんで名づけられ、それがやわらかいおもちゃであらわされているため、子どもたちは園でのアイデンティティの感覚を発達させることができる。子どもたちはその鳥を家に持って帰り、たとえば休日にどこに行ってきたかを報告する。これは、ポピュラーな活動であり、子どもたちが園の生活に貢献していると感じたり、家庭と園には重要で楽しいつながりがあるということを実感したりするのを助ける。
- ・家庭的なスタイルの集団において仲間や保育者との良好な関係を発達させることができる。子どもたちの行動は、職員のポジティブで明確なマネジメントと、子どもの

発達に関する知識に基づく現実的な期待の結果であり、他の模範となるものである。

- ・保護者や carer とのパートナーシップは傑出している。
- ・園は保護者や carer との良好な関係を育成するために努力している。入園の際に詳細情報が聴取され、頻繁に更新されるため、職員は子どもに影響を与えるすべての関連情報と変化について把握している。
- ・保護者に対し、園生活のすべての側面について多様な方法で通知がなされる；学校案内、定期的に発行されるニュースレター、各教室に備え付けられた掲示板等。
- ・保護者は、子どもたちの発達の記録を見ることができ、子どもたちの成長や関心事について、担任 (key workers) と話し合うことができる。これは、日常的にインフォーマルになされるだけでなく、オープンセッション中にも設定される。オープンセッションでは、すべての保護者と carer が園に招待され、活動に参加してみることができ。
- ・子どもたちは日誌を家に持ち帰る；保護者はコメントや情報を付け加えることができ、担任と家庭との接点として利用されている。
- ・子どもたちの精神、モラル、社会性、文化の発達が促進されている。
- ・子どもたちは自立することと助け合うことを学んでいる。子どもたちは自分自身の文化や他の文化をトピックや日常の活動を通して学ぶ。子どもたちは行為の結果や人々がどのように感じるかを考える。子どもたちは、子ども同士、また周囲の大人とあたたかく、友好的な関係を築いている。

○組織：outstanding

- ・職員は、園で働く適性があることを確認するために必要なすべてのチェックを受けている。厳しい検査を受けていない職員やボ

- ランティアが、監督なしで子どもたちに接することはないことが保証されている。職員チーム内には非常に高いレベルの資格が存在し、トレーニングに参加している職員はよく支援されている。
- ・担任は、子どもたちの日々の福祉について責任を持ち、発達の記録をつけ、保護者と連絡を取っている。職員と子どもの割合は、すべての子どもたち個々に注意を払うことを保証するために必要とされる最小の値を超えている。
 - ・部屋には高品質の家具と備品が備え付けられており、子どもたちに変化にとんだ面白い一日を提供するのに空間が上手に利用されている。たとえば、子どもたちは教室で小グループで作業したり、上の階へ行って窓から鳥を観察したり、変わりゆく季節を経験したり新鮮な空気を味わうために外で遊んだりする。
 - ・すべての書類は所定の位置に保管され、細心の注意が払われて高水準に保たれている。園は、同じ経営者の下に設立されたグループの一員であるため、方針や手続きについてのよい実践がグループ内のすべての保育者間で共有されている。
 - ・すべての書類は、正面玄関の近くの中央オフィスに保管され、機密が保たれている。職員は必要な書類を手に入れることができ、進行中の日々の記録は教室に保持されている。
 - ・リーダーシップとマネージメントは傑出している。
 - ・園には、個々の子どもたちの発達と達成に焦点を当てた明確なビジョンと理念が存在する。職員は、モチベーションが高く、熱心である；彼らはアイデアを持ちより、実践にポジティブな影響を与えている。職員は自分の価値を実感しており、チームとしてよく働き、高い水準の保育と教育を提供するために最大限の努力をしている。
 - ・職員は、事務仕事を完成し、記録を最新のものにしておくための時間が与えられている。
 - ・毎週、マネージャーの会議では、ルームリーダーにその週の活動やニュースが手短かに伝えられ、職員は定期的に全体で集まり、必要などときには小さなチームで集まる。
 - ・職員は、室内外の環境を、子どもたちの作品で明るくカラフルに飾り付けしていることに誇りを持っている。
 - ・監査と評価の継続的なシステムが存在し、活動がうまくいっているかどうかを判断するための話し合いが行われる。将来の計画に情報を提供するプロセスである。職員の専門性向上のためのニーズは、定期的な評価を通して取り組まれる。そのプロセスに職員は十分に関わり、彼らの観点が検討され評価される。職員は園のすべての側面や日々の経営について意見を求められる。また、Ofsted の自己評価フォームを完成させ、彼らの観点について話し合う機会を持つ。
 - ・マネージャーは、トレーニングが最近の動向や発展に遅れないための方法であり、最大限可能な保育と教育を提供するための規範を育てる方法であるという強固な信念を持っており、このビジョンに取り組むための十分な支援をオーナーから受けている。
 - ・職員は頻繁にトレーニングデイやコースに参加し、スタッフミーティングの際に知識を他の職員に伝達する。また、その知識を子どもの保育に役立てている。
- 過去の評価以来の改善点：適用なし
- 過去の評価以来の不十分な点
- ・登録以来報告すべき不十分な点はない。
 - ・保護者からの苦情の記録については、保管することが求められる。

◆ 将来の改善のためになすべきこと

○保育の質と水準

- ・保育の質と水準は傑出しているため、改善することが推奨される点はない。

○教育の質と水準

- ・教育の質と水準は傑出しているため、改善することが推奨される点はない。

③イギリスにおける第三者評価の実態に関するまとめと考察

- ◆ 第三者評価に対するイギリスの保育・幼児教育施設の対応の特